

## 令和4年度 東京都高等学校新人卓球大会 要項

主催：東京都高等学校体育連盟

主管：東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部

標記の大会を下記要項にて開催します。希望校は期日までにお申し込みください。

## 記

## 1. 期日・種目・会場

10月	1日(土)	学校対抗	13:00～	明大明治高校
	2日(日)	学校対抗	9:00～	明大明治高校
	8日(土)	学校対抗	13:00～	エスフォルタアリーナ八王子(サブ) 五日市ファインプラザ
	9日(日)	学校対抗決勝大会	9:00～	足立学園高校
	10日(祝)	シングルス	9:00～	羽村スポーツセンター・足立学園高校
	15日(土)	シングルス	13:00～	多摩工業高校
	16日(日)	シングルス	9:00～	多摩工業高校
	22日(土)	シングルス	13:00～	エスフォルタアリーナ八王子(サブ) 五日市ファインプラザ
	23日(日)	シングルス	9:00～	武蔵野の森総合スポーツプラザ
(武蔵野の森総合スポーツプラザは昨年度と同様に引率・監督の方も健康管理チェックシートの提出が必要です。)				
	29日(土)	シングルス	13:00～	エスフォルタアリーナ八王子(サブ)
11月	3日(祝)	シングルス決勝大会	9:00～	五日市ファインプラザ
	6日(日)	ダブルス	9:00～	明大明治高校
	12日(土)	ダブルス	13:00～	五日市ファインプラザ・多摩工業高校
	23日(祝)	ダブルス決勝大会	9:00～	五日市ファインプラザ

## 2. 競技種目・参加数

- (1) 学校対抗 各校1チーム **抽選会は9月18日(日)15時から五日市ファインプラザで行います。**  
(令和4年度 全国総体予選 学校対抗の部 ベスト8・ベスト16・ベスト32の学校が対象)
- (2) シングルス 参加数制限なし
- (3) ダブルス 参加数制限なし

## 3. 代表数

第26回関東高等学校新人卓球大会 兼 第50回関東高等学校選抜卓球大会

- ① I部(令和4年12月24日～26日/栃木県宇都宮市) 学校対抗3校(1～3位)
- ② II部(令和4年12月24日～26日または27日/栃木県宇都宮市) 学校対抗2校(4・5位)
- ③ 全国高校選抜卓球大会(令和5年3月25日～28日/愛知県豊田市) シングルス 1名
- ④ 東京都・神奈川県強化練習会(令和5年1月29日/横浜市江北スポーツセンター)  
学校対抗8校・シングルス16名・ダブルス8組

## 4. 競技規定 現行の日本卓球ルールと以下の規定を適用する。

- (1) 選手は、(公財)日本卓球協会発行の令和4年度ゼッケンを背中につけること。
- (2) 日本卓球ルールで、特に留意すること。
- ア. ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解しておくこと。
- イ. 競技用ユニフォームは(公財)日本卓球協会公認マークの付いたものとする。  
※ 広告付きユニフォームは使用できない。
- ウ. ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして(公財)日本卓球協会が公認した接着剤のみとする。
- エ. 接着剤の使用は、指定された場所のみで認める。

## 5. 競技方法

(1) 全種目全試合1本5ゲームスマッチとする。

**試合前のラケット交換は、台上で見せ合うようにする。試合後の握手は行わない。**

(2) **学校対抗はベスト4決定戦から、シングルス・ダブルスはベスト8決定戦からタイムアウト制を適用する。**

(3) 学校対抗は、次の方法で行う。

- ア. **登録選手は4～7名**とする。ただし、試合日が異なる場合には異なる7名で出場することができる。
- イ. 試合形式は4～6名でオーダーを組むことができる4シングルス1ダブルスで行う。試合順序は1番シングルス・2番シングルス・3番ダブルス・4番シングルス・5番シングルスを原則とする。
- ウ. 外国籍選手は1試合につき1名が、シングルス・ダブルスを問わずに1回のみ出場できる。
- エ. ダブルスに出場する選手はシングルスにも重複出場できるが、シングルスの1・2番に出場した選手同士でダブルスを組むことはできない。また、シングルスは4人とも異なる選手が出場しなければならない。
- オ. 進行状況によってはシングルス4試合を先に行うこともあり得るが、この場合でもオーダーの組み方は上記「エ」の規定に従う。
- カ. 勝敗は3試合先取で決する。
- キ. ベスト4決定まではトーナメント方式で行い、その後、1～4位リーグ戦と5～8位リーグ戦を行う。

(4) シングルス・ダブルスは、次の方法で行う。

- ア. すべてトーナメント方式で行う。
  - イ. 以下の条件に該当する選手の中からシングルス最上位の者1名を、全国高等学校選抜卓球大会のシングルス代表とする。必要に応じて代表決定戦を行う。
    - ① 本大会学校対抗上位2校以外の学校に在籍する選手。
    - ② 過去に以下の大会の代表（選手登録）経験がない選手。
      - ・全国高等学校総合体育大会（学校対抗・ダブルス・シングルス）
      - ・全国高等学校選抜卓球大会（学校対抗・シングルス）
      - ・全日本選手権（一般・ジュニア・ダブルス）
  - ウ. シングルス最上位の者を全国高校選抜新人合宿（令和4年12月実施、日程・会場未定）に推薦する。（外国人留学生を除く）
- (5) 表彰は各種目ともに3位までとする。
- (6) **カウンター（得点版）は決勝大会のみ使用する。**
- (7) 選手は各試合のセット間・チェンジエンド・試合終了後に卓球台のぞうきんがけ（乾拭き）を行う。

## 6. 使用球及び使用卓球台

(1) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認の40mm白球（プラスチックボール）とする。

(2) 使用卓球台は、(公財)日本卓球協会公認台とする。

## 7. 参加資格

- (1) 令和4年度東京都高等学校体育連盟男子卓球専門部加盟登録済みの学校に在籍する、**令和4年度(公財)日本卓球協会登録済みの選手。**
- (2) 年齢は、平成16年(2004年)4月2日以降に出生した者とするが、出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (3) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。ただし、事前に学校単位で東京都高等学校体育連盟事務局に申請し許可を得ること。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、東京都高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 上記(1)～(4)の要件を満たした上で、在学する学校長の許可を必要とする。

## 8. 参加申込

### (1) 申込方法

必要事項をすべて記入した所定の申込用紙に**学校長許可印を受け**、(2)に従って提出する。

### (2) 申込締切・提出先 **※ 締切日以降の申し込みは一切受け付けない。**

- ・令和4年度全日本卓球選手権大会(ジュニアの部)予選の各会場。

**【最終日】9月11日(日)五日市ファインプラザ**

- ・郵送 **9月15日(木)事務局必着**

#### 事務局

〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-22

東京高都立白鷗高等学校 若井 清孝 宛

## 9. 参加費 大会終了後、右の期限までに所定の口座に振り込むこと。振込期限:9月15日(木)

学校対抗	1チーム	2,000円
ダブルス	1組	700円
シングルス	1人	400円
振込先口座	ゆうちょ銀行	00180-2-155080

※ 領収証の必要な学校には試合会場にて作成し発行する。ただし、振込確認ができていない領収証は発行できない。(振り込み確認には4~5日ほど必要)

※ 荒天等による中止・日程変更などの場合でも参加費の返金を行わない。

## 10. 大会参加校が遵守する事項(引率責任者が指導を徹底すること)

- (1) 参加にあたっては、生徒・保護者から同意書(別紙)を得ること。必要事項を記入して各学校の顧問教諭(引率者)が大会当日に確認して大会終了後に学校長に提出。大会後の感染発生時に備えて各学校で1ヶ月保管する。
- (2) 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる。
  - ア. 体調がよくない場合  
(例:平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)
  - イ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ. 新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触者である場合
  - エ. 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) マスクは参加者が持参し、使用後全てのゴミとともにビニール袋に入れて持ち帰る。  
(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する)
- (4) 消毒用アルコール等は参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や使用用具、観覧席の消毒を実施すること。手拭き用のタオル等は各自持参させる。
- (5) 他の参加者や役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- (6) 大会中に大きな声で会話、応援等しない。
- (7) 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- (8) 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う。
- (9) 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する。
- (10) 当面の間、無観客で開催するため当日の入場に制限があることを保護者等に周知・徹底する。
- (11) 会場への移動等は参加校が責任をもって集団リスク(3密の条件)を避ける。

## 11. その他

- ・無観客試合のため、以下の者以外の入場は認めない。

学校対抗の部 生徒：出場選手（4～7名）と審判要員部員2名

引率責任者：1名（顧問教諭または引率を認められた部活動指導員）

監督：1名（日本卓球協会役職者登録済みの教諭または部活動指導員または外部コーチ）

シングルの部 生徒：出場選手（**出場選手が1名の場合、決勝大会は練習相手1名可**）

引率責任者：1名（顧問教諭または引率を認められた部活動指導員）

監督：1名（日本卓球協会役職者登録済みの教諭または部活動指導員または外部コーチ）

ダブルスの部 生徒：出場選手

引率責任者：1名（顧問教諭または引率を認められた部活動指導員）

監督：1名（日本卓球協会役職者登録済みの教諭または部活動指導員または外部コーチ）

- ・引率責任者のいないチーム・選手は委任状が必要。引率責任者は責任を持って選手の体調管理を行う。

- ・**決勝大会は試合前に練習の時間を設けます。また、ベンチコーチも可とします。**

男子卓球専門部事務局への連絡はメールでおこなうこと。

事務局 E-mail : [tkktr\\_pinpon\\_ds@tkdts.net](mailto:tkktr_pinpon_ds@tkdts.net)